

2022 年度実施概要

学校名

洋野町立中野小学校

採択活動名

私たちの教室は「洋野の自然と世界一の太平洋」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1		うげはまにいこう
2	1年	うげはまに またいこう
3		つくってみよう あそんでみよう
4		有家川にいこう
5	2年	有家浜にいこう
6		ぼく、わたしのお気に入りをお伝えしよう
7		潮風トレイルで海のふしぎを見つけよう
8	3年	見つけた不思議について詳しく調べよう
9		調べたことを図鑑にまとめ、発表しよう
10		有家川について調べよう
11	4年	山一川一海のつながりについて調べよう
12		山川海のつながりについて分かったことをまとめ、伝えよう
13		洋野町でおいしいウニがたくさんとれる理由を調べよう
14	5年	洋野町のサケがよくとれる理由とは？
15		洋野のウニやサケをお伝えしよう
16		サケが直面している問題とは？
17	6年	サケの抱えている問題の原因を調べ、自分たちでできることを考えよう
18		洋野のウニ（サケ）を守るために、自分たちにできることをまとめ、発表しよう

【学習の様子 1～3年】



1年 有家浜で砂遊び



2年 有家川探検活動



3年 潮風トレイル活動

取り組みの概要

本校の海洋教育では、「海の豊かな自然に親しむ活動や、身近な地域社会の中で海とのつながりを感じ取れるような体験活動、海について調べる活動、その保全活動等を通して、海に対する豊かな感受性を培い海に対する関心を高めさせるとともに、海洋と人間の関係及び海を通じた世界の人々との結びつきについて理解させ、持続可能な社会の形成者としての資質、能力、態度を養う。」ことを目標とし、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの視点でそれぞれの目標・発達段階に応じた単元を設定している。

今年度は、「地域素材を活かした教科等横断的な単元・教材の開発」「子どもの問いに基づく探求課題の設定の在り方」「子どもの表現を深めるための対話の在り方」の3つの手立てをもとに授業実践を行った。

「子どもの問いに基づく探求課題の設定の在り方」では、探求課題設定前の体験活動を重視し、体験から生まれた子ども達の気づき・感想を整理しながら、探究活動に価する課題を作り上げることができた。

「子どもの表現を深めるための対話の在り方」では、探究する場面において、思考ツールを活用することによって、思考の広がりや深まりのある話し合いを行うことができた。発表場面においては、相手意識を持たせるため、発表学年の近接学年を対象とすることによって、発表内容や提示物の吟味を行い、発表学年も聞く側の学年も意欲に活動を行うことができた。

今後は、探究活動場面における思考ツールの活用についてさらに研究を進め、より価値のある探究活動となるようにするとともに、中学校までの9年間を見通した、各学年で身につけてほしい資質・能力、学習内容の系統性を明確にしていく必要がある。

海洋学習の進め方

- ・中野小MSN (Map of the Sea of Nakano elementary school) に沿って進める。
- ・ストーリーマップの改善を図り、学習活動の充実を図る。
- ・単元導入時における見学、体験学習等を重視して行う。
- ・思考ツールを効果的に活用し、より価値のある探究活動の充実を図る。
- ・相手意識をもって発表する機会を設け、表現力を養う。
- ・小学校と中学校とが連携し、互いの授業参観や研究会への参加を行いながら、9年間を見通した学習内容の系統性を図る。

【学習の様子 4～6年】



4年 植林体験



5年 ウニ増殖溝見学



6年 海洋サミット発表